

起“承”転結 2018年の覚悟 丹波市

丹波市流“まちづくり”八策

目指すべき丹波市まちづくり

- 中心部に一定の都市機能を集積
- 小規模多機能自治
- 公共交通網の充実
- 丹波の森づくり 30周年

医療・福祉の体制づくり

- 丹波医療センター&ミルネのハイブリッド機能
- ICT活用で処方・調剤情報
- 地域包括支援センター(西・南・東)
- リレーフォーラムで市民理解

安全安心の暮らし

- 豪雨災害・教訓の継承
- 防災行政無線デジタル化
- 障がい者(児)福祉プラン
- 上水道管路更新
- 消防体制の充実

地域と育む教育

- 英検チャレンジ・ICT活用
- ふるさと教育
- コミュニティ・スクール
- 教育環境の充実
- 山南地域中学校統合など
- 進学制度

丹の合併
20周年に向けて
Since 2004-2024

商業・観光・移住の融合

- 小規模・中小企業への支援
- DMOへの組成
- にっぽん恐竜協議会の拡大
- エリアマネジメント

人材育成

- 市民プラザ開設 (H31. 10)
- 認定こども園 (13園)
- たんば女性フォーラム
- 高校生提案事業の実現
- 水分け資料館リニューアル
- 中3までの医療費無料化
- 芸術・文化・スポーツ

広域交流連携

- むかわ町・御船町・篠山市
- 福知山市・朝来市
- 関大・関学・武庫川女子大・福知山公立大・関西国際大・神戸学院大など
- 交通インフラ
・R429 ・R175 ・JR福知山線

将来現れた農業

- 特産品のブランド価値確立
- 「農の学校」開校 (H31. 4)
- ニンニク普及拡大
- 地元産木材の活用 (マルチプロジェクト)
- 海外輸出を目指す10年ロードマップ

シティ・プロモーション展開

活動支援制度 (H29~31)

丹波市歌、市憲章、「恐竜の詩」
ふるさと住民票、廃校活用
Softbank社インテグレーション...

丹波市観光・商工業ユニティプラン

観光を軸にまちづくり

前年度比 過去2番目の規模

一般会計 388億円 1.6%増

丹波市当初予算

2018年度当初予算案を「脱皮への鼓動」と名付け、説明する谷口市長



2/9 丹波新聞

洞察力 洞察力 洞察力 洞察力 洞察力 洞察力 洞察力 洞察力 洞察力

大胆さと丁寧さ忘れず

(2018.2.20 神戸新聞)

市役所柏原庁舎の観光拠点化事業では、谷口市長は「宿泊機能の整備を検討したい」と表明。急展開に驚いた人もいそう。地方が競い合う時代に大胆な政治姿勢は必要。だが、市民の理解を得る丁寧さと慎重さも一層求められる。丹波豪雨の市復興プランも5カ年計画の最終年度となる。記憶は風化していないか」という視点で、次への備えに生かす取り組みに期待したい。(若崎昂志)

視点
2019年度に事業の集中展開を目指してシティプロモーション活動を進めている谷口進一市長にとって、就任2年目で独自色が求められる18年度当初予算案。発表会見で谷口市長は「新規事業をあちこちの分野にちりばめ全方位に目配りした」と語ったが、以前からの長期事業の費用が膨らみ、懐事情の苦心がうかがえる。新規事業は19年度に向けた準備や計画検討なども多く、直接的なインパクトには欠ける印象だ。

どうなる柏原支所

懇話会・議会軽視と批判 統制欠如指摘も

議案第4号 平成30年度丹波市一般会計予算に関する附帯決議

平成30年度丹波市一般会計予算案の審査にあたり、特に建設部住まいづくり課が関わる事業について、地域や議会に十分な説明、あるいは調整ができていなかったことは、市長もその答弁で認めたところである。

このことは、平成29年1月16日に可決した、「市の事務執行に対し猛省を促す決議」において「庁内での調整が不十分なまま」と指摘した体制が、いまだ改まっていないことを示すものと言わざるを得ない。

ついでに、下記の事項が満たされるまで、該当する予算を執行しないことを求める。

(2018.3.26)

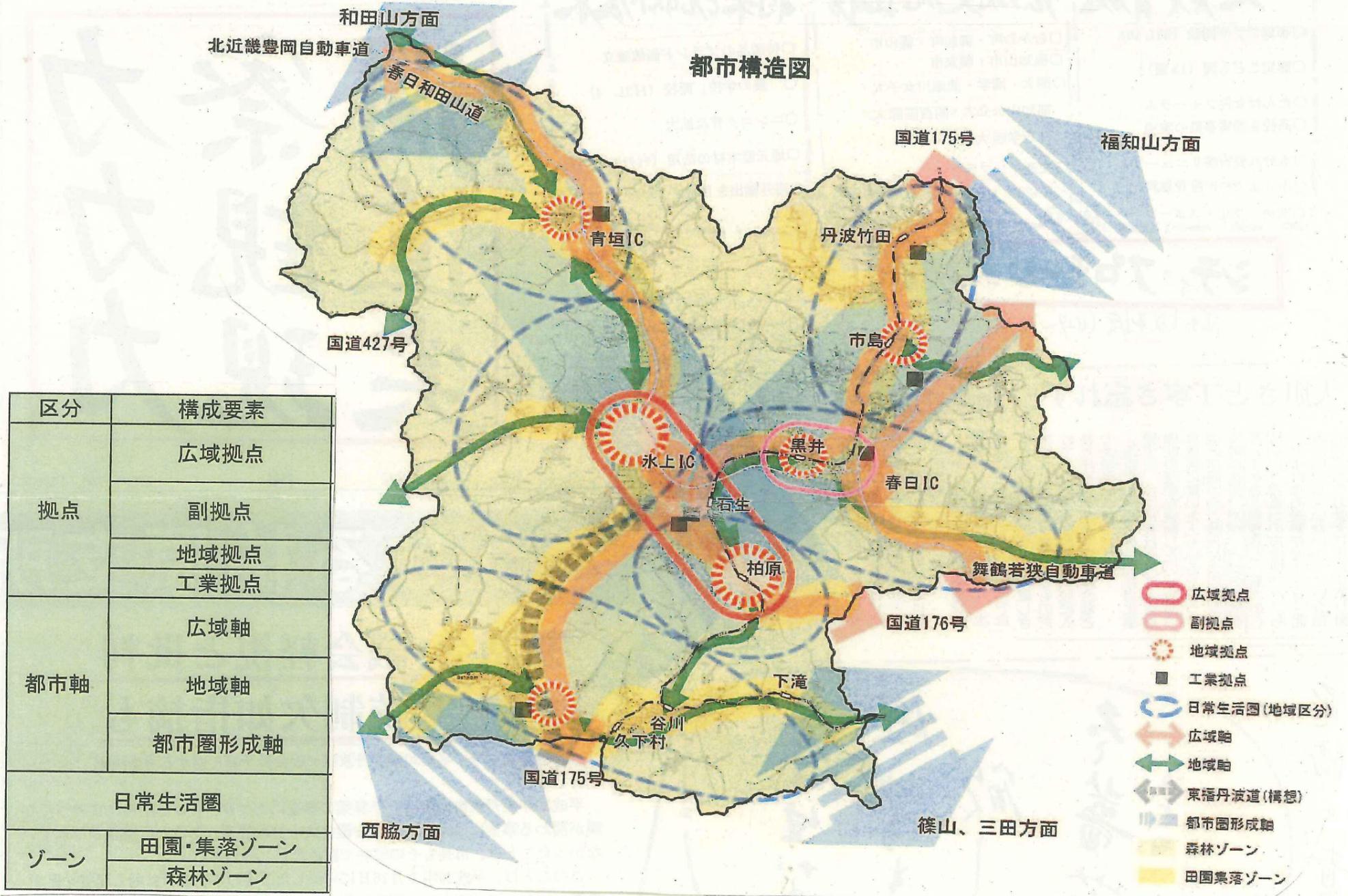
覚悟と責任
燃ゆるもの
余生は
冬暮れ
静か

丹波市 “忠臣蔵” ロードマップ

130.4.7
H29.11.27

No.	忠臣の面々	2017年度(平成29年度)	2018年度(平成30年度)	2019年度【丹波市元年・改元】	2020年度【東京オリンピック】	備考	○×
1	統合新病院・看護専門学校	・5月建設着工	・3月建物完成	★7月開院見込み		21世紀前半最大のプロジェクト	
2	柏原支所の観光拠点化	・懇話会(5月～) 機能・運営体制の協議	・リニューアル設計	工事 → (★11月オープン)	・4月たんばDMO発足		
3	定住促進センター(仮称)	・運営体制等協議	・4月移住定住業務集約	(★11月観光拠点にオープン)		2に併設	
4	農の学校	・9月条例制定 運営体制	・施設整備	★4月開校		市島生きがい創造いこいの家	
5	市民プラザ 市民活動支援センター 男女共同参画センター	・基本計画策定	・運営体制、人材育成 施設実施設計	・着工 ★10月オープン			
6	廃校舎利活用(芦田小・神楽小)	地元等協議、開業準備					
7	廃校舎利活用(遠阪小)	・3月廃校舎利活用フェア2018 in たんばCITY (ソフトバンク提案)					
8	認定こども園	・手塚建築研究所設計協議 (柏原)	★4月氷上2園開園 (生郷、沼貫)	★4月柏原2園開園 (全13園完了)			
9	水分れ資料館リニューアル	・展示内容検討 ・地元協議	・運営のあり方 ・実施設計	(着工 →)	→ ★8月オープン		
10	丹波竜博物館	・「にっぽん恐竜協議会」設立 ・3月映画「恐竜の詩」試写会	・機能・運営体制検討			(例)山南庁舎活用	
11	丹波市の歌(千住明氏作曲)	・10月作曲家千住氏来丹 ・1月歌詞を全国公募	・8月歌詞公開審査会 ★11月完成	・学校、地域、グループ等で歌唱指導 ★丹波市の歌合唱祭(全国発信)		2019年1月成人式にてお披露目	
12	ワクワクどきどきキャンペーン	・市民応募認定事業募集(12月)	・シテプロモーション認定事業 ・ロゴ・タイトル募集、ガイドブック パンフ作成	★“丹の里ワクワクどきどきキャンペーン2019”実施 ・11月【15周年記念イベント】 ・市民憲章			
13	新庁舎 (建設の是非も含め要検討)	・10月検討案提示 ・タウンミーティング	(建設位置の協議) ★都市構造のあり方検討 ・タウンミーティング	(基本構想)	(基本設計)	[2021 実施設計 2022 着工、工期2年]	

起 承 転 結





化学物質過敏症

化学物質過敏症とは？

あまり聞いたことはない疾患ですね。
通常なら適応できるようなごく微量の化学物質に体が反応し、多種多様な症状がでる疾患のことです。

症状・・・頭痛・めまい・吐き気・のどの痛み
発汗・筋肉痛・イライラ・疲労感
じんましん・せきなど

人それぞれ様々な症状がでるようです。

私たちの体は、有害物質にさらされても、それを排泄して、体を守る働きがあります。

しかし、それが大量だったり、ごく微量でも長期にわたり、さらされ続けるとその人に備わった耐性を超えてしまい(個人差は大きい)、発症するようです。

身近にある化学物質発生源

みなさんがよく使うもの

- 整髪料・ヘアスプレー・化粧品類
- 芳香剤・消臭剤・制汗剤
- 合成洗剤・柔軟剤
- 殺虫剤・防虫剤

などなど

部屋にある家具類等から溶け出す物質

- 建材やタンス等の家具の合板・接着剤
- 床等のワックス溶剤
- カーテン・じゅうたん等の難燃剤

(火事等の場合等に燃えにくくする)

などなど

意外に、日常的に私たちの生活空間で触れているものが原因のようです。

今は症状がなくても、日頃から、そのような物質は、できるだけ遠ざけることが予防につながります。

(診断・治療・予防)

この疾患は、血液検査や神経の働き等を調べても異常がでません。

その人の症状や生活の様子を詳しく調べることによって診断されますが、同じ環境にあっても、体の反応には、かなりの個人差があるようです。

そのため、症状がでてから病名がはっきりするのは、時間もかかり、なかなか診断がつかない場合もあるようです。

治療と予防

治療も予防も原則は同じです。

できるだけ化学物質にさらされない生活をするのですが、今の社会では化学物質をゼロにすることは不可能です。

自分で考えて、体に入ってくる化学物質の量をできるだけ抑えることです。

例えば、ヘアスプレーや制汗剤・消臭剤等を使う量や回数を減らすことは自分でできることです。

また、避けられない化学物質が体内に入ってきてても、体外に排泄しやすい体の条件を整えておくことも大切です。

十分な睡眠・バランスの良い食事をとる。

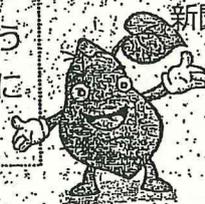
ストレスを減らすような生活をする。

適度な運動・入浴等で、清潔を保ったり、新陳代謝をよくする。

など、規則正しい生活を心がけることです。

少年写真新聞より

新聞は保健室前に掲示しています。



一年花を植えましよう

十年木を植えましよう

百年人を育てましよう

ケント市・オーバン市との親善交流について

～丹波市内在住中高生ホームステイ 2018～

1 概要

丹波市の友好都市であるケント市・オーバン市の中高校生が「若き親善大使」として、来丹し、市内の家庭でホームステイを行い、親善交流を行なっている。

また、市内在住の中高生も丹波市の「若き親善大使」として、ケント市・オーバン市を訪問し、両市との親善を深めている。

中高生のホームステイ派遣事業は、平成11年から始まり、今年度で20回目となる。

2 ケント市・オーバン市からの訪問について

期 間 平成30年7月21日（土）～7月30日（月）10日間

人 数 6名（学生5名・引率者1名）

1. Katia Lewis (カティア ルイス) 15歳（女性）
2. Aidan Hanke (エイダン ハンキ) 15歳（男性）
3. Melida Perez (メリダ ペレス) 15歳（女性）
4. Irina Paul (アイリーナ ポール) 15歳（女性）
5. Shirley Wong (シャリー ウォング) 14歳（女性）
6. Carol Dickinson (キャロル ディキンソン) 不明（女性：引率者）

日 程

- ・ 歓迎パーティ 7月22日（日）午後6時00分～ 丹波悠遊の森
- ・ 市長表敬訪問 7月23日（月）午前9時30分～ 氷上住民センター
- ・ 柏原高校訪問 7月23日（月）午後1時00分～ 柏原高校
- ・ 京都見学 7月25日（水）午前8時00分～ 京都市内

3 ケント市・オーバン市への訪問について

期 間 平成30年8月7日（火）～8月17日（金）11日間

参加者 生徒4名、引率者1名

人 数 5名（学生4名・引率者1名）

1. 大原 結 (氷上中学校3年生・男性)
2. 小橋 稿太郎 (春日中学校3年生・男性)
3. 富田 康生 (氷上中学校3年生・男性)
4. 佐野 琴美 (氷上中学校3年生・女性)
5. 中澤 宗子 (引率者・女性)

内 容 ケント市・オーバン市長表敬訪問、交流会等

4 これまでの親善交流の経過

1963年（昭和38年）兵庫県とワシントン州が姉妹県州提携

1965年（昭和40年）柏原高校とケントメリディアン高校が姉妹校提携

1968年（昭和43年）柏原町とケント市、春日町とオーバン市が姉妹都市提携

2005年（平成17年）ケント市長・オーバン市長が来丹

2010年（平成22年）丹波市長・丹波市議会議長、企画部長がケント・オーバン市を表敬
訪問

2011年（平成23年）姉妹都市交流覚書を締結

2016年（平成28年）姉妹都市交流覚書の更新に調印

5 問合せ先

丹波市役所まちづくり部人権啓発センター 0795-82-0242

丹波市国際交流協会 0795-72-5880

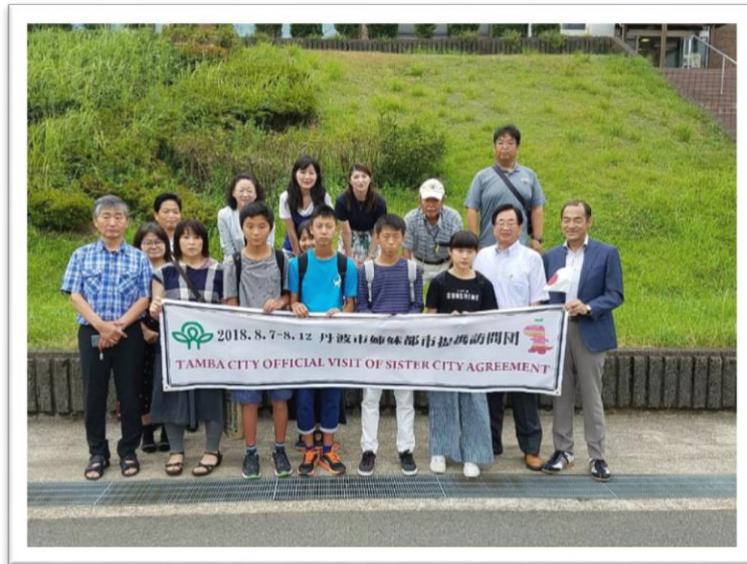
姉妹都市提携訪問団報告書

○ 日程

平成30年8月7日（火）～平成30年8月12日（日）

○ 訪問先

アメリカ合衆国ワシントン州セント市・オーバン市



平成30年8月7日（火）出発式

平成30年8月27日

丹波市・丹波市議会

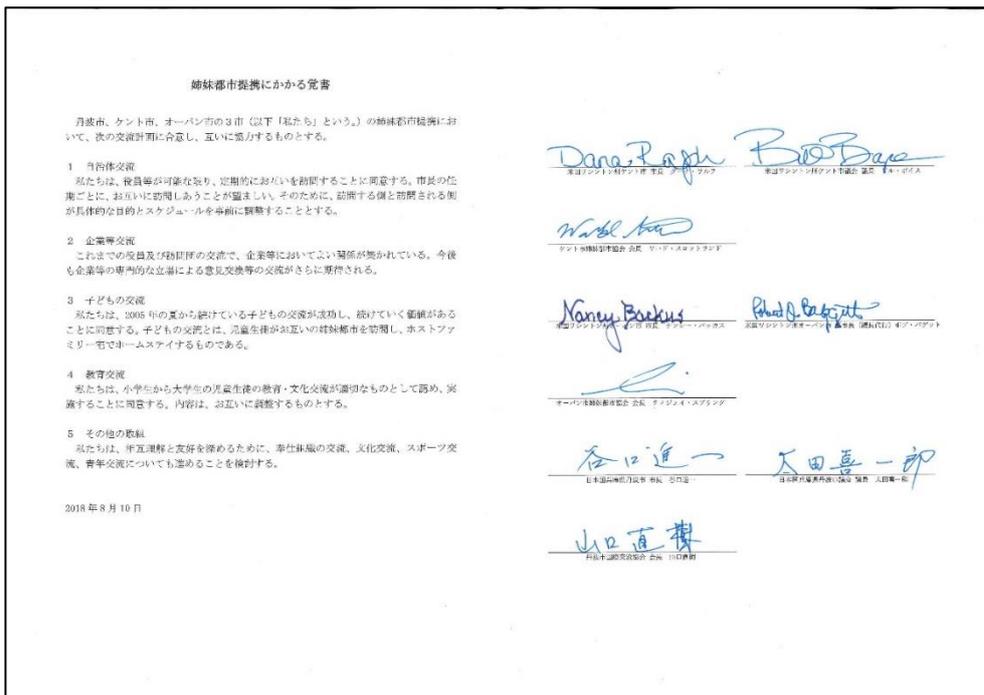
1 協定書及び覚書の締結

平成30年8月10日（金）、ケント市にて谷口進一丹波市長、太田喜一郎丹波市議会議長、山口直樹丹波市国際交流協会会長が姉妹都市提携協定書に署名しました。あわせて、ケント市長及びオーバン市長より、日本国丹波市の日宣言への署名がありました。

(1) 署名後の姉妹都市提携協定書



(2) 署名後の姉妹都市提携にかかる覚書（日本語）



(3) 姉妹都市提携協定書署名の様子



ラルフ市長 谷口市長 バッカス市長



バケット副市長 太田議長



(4) 各市長コメント

○ Dana Ralph (ダーナ ラルフ) ケント市長

30年前に1年間交換留学生として丹波市で暮らし、県立柏原高等学校に通学した懐かしい思い出があります。今日、こうして丹波市と協定締結の場に立ち会えることに深い感慨を覚えます。

○ Nancy Backus (ナンシー バッカス) オーバン市長

これから次の50年(100周年)に向けて、さらに交流を深めていきたい。来年秋には両市長がそろって丹波市を訪問するつもりです。

○ 谷口進一 丹波市長

これまで半世紀の間、交流を継続するのにご努力いただいた先輩方に敬意を表します。これから大切なことは、国際親善や経済交流もさることながら、若き親善大使(ユースアンバサダー)たちの夢を実現することだと考えています。今後、私たちの連携・友情がさらに強固なものになることを願います。

(5) 日本国丹波市の日宣言



宣言（要約）

一、ケント市とオーバン市は、50年以上にわたる丹波市との親善交流を祝うことを喜ばしく思います。

一、この親善交流は、三市における永続的な友好関係、有意義な文化交流、そして毎年行われる強力な若き親善大使の取組を進展させました。

一、谷口進一丹波市長、太田喜一郎丹波市議会議長、そして訪問団は、この三市間で共有された友好関係の強固な結束を続けていく姉妹都市提携の正式署名のため、ケント市とオーバン市を訪問しました。

一、三市は、この長年にわたる親善交流、文化の共有、そして毎年強く成長する関係を分かち合えるということが幸運なのです。

私たち、ダーナ・ラルフ ケント市長とナンシー・バックス オーバン市長は、本日 2018 年 8 月 10 日 金曜日に、宣言します。

日本国丹波市の日

オーバン市とケント市では、両市の住民が、この三市すべてに豊かな文化と永続的な友好をもたらしたこの姉妹都市の関係を祝福すること推進します。

立会のもと、私たちは、2018 年 8 月 10 日の栄誉ある特別な機会に、ここに署名します。

署名

(6) 日本国丹波市の日宣言の様子



2 ケント市議会訪問・傍聴

平成30年8月7日（火）17時から21時まで、ケント市議会へ訪問し、議会やタウンミーティングの様子を傍聴しました。

(1) 市議会の構成

- ・ 市長
- ・ Chief administrative officer 副市長
- ・ City Attorney 弁護士
- ・ 市議会議員 7人（うち1名が議長）

(2) 議会傍聴、ケント市長のタウンミーティング (National Night Out) の様子



議会



タウンミーティング



3 在シアトル日本国総領事館への表敬訪問

平成30年8月8日(水)、在シアトル日本国総領事館を表敬訪問し、山田洋一郎総領事から日米の歴史や経済交流について、講話いただきました。

(1) 訪問の様子





(2) 山田洋一郎総領事の講話（要点）

[シアトル市を中心とした経済圏（大シアトル経済圏）の特徴]

① 世界をけん引するハイテク産業の都市

- ・人工知能（AI）など、将来の基礎技術が集積している。これは、日本の経済基盤を支えていくものでもある。
- ・現在のシステム基盤であるクラウドコンピューティングの関連企業がシアトル市に集中している。
- ・サンフランシスコにあるシリコンバレーが草原の中に多くの木々が生えるまちと言うならば、大シアトル経済圏はアマゾン、マイクロソフトの2本の巨木がけん引するまちと言える。大シアトル経済圏は次の世界企業によって成立している。
 - 1970年代 ボーイング社他 170 企業
 - 1980年代 マイクロソフト社
 - 2000年代 アマゾン
- ・優秀企業が優秀な人材を育て、優秀な人材が起業しキラリと光るまちを作る。
- ・ライフサイエンス（がん医療など）が進んでいる。
- ・大学の役割が大きく、膨大な研究の成果が起業→自立につながっている。
- ・ワシントン州立大だけでも 1,500~2,000 億円の研究費を拠出している。

② 日系人の関わりが深いまち

- ・1890年代から日本からの移民が始まったが、1920年代に制定された移民法により西海岸約12万人の日本人は、強制収容が行われた歴史もある。
- ・強制収容からの解放後、日本人は誠実かつ勤勉に働き、この地で生きてきたが、日本ではあまり知られていない。

- ・この功績は、全米で最も歴史の長い現存するマーケットであるパイクプレイスマーケットの壁に掲げられている。(参考:右写真)



- ・こういった犠牲と苦労が信頼感を勝ち得て、日本文化が定着したのである。

4 兵庫県ワシントン州事務所への表敬訪問

平成30年8月8日(水)、兵庫県ワシントン州事務所を表敬訪問し、河知秀晃所長から兵庫県とワシントン州の交流について、講話いただきました。

(1) 訪問の様子



5 オーバン市訪問

平成30年8月9日（木）、オーバン市を訪問し、市内のビジネスエリアを視察しました。

(1) 訪問の様子



オーバン市のビジネスインキュベーター



市内再開発による電柱のない美しい街並み



障がい者・犯罪者雇用率 20%の
オリオン社（航空機器製造）



厳格なセキュリティ・品質管理の
スターバックス焙煎工場



アマゾン社のフルフィルメントセンター



広大な工業用地

6 かいばら公園の視察

平成30年8月10日（金）、ケント市内にあるかいばら公園を視察しました。



7 KATの活動

平成30年8月9日（木）、KAT主催でウェルカムバンケットが催されました。KATはケント市・オーバン市・丹波市姉妹都市提携委員会の略称です。KATは、Kent・Auburn・Tambaの頭文字をとったもので、今回の姉妹都市提携に合わせて、KATの旗を作成しました。



8 若き親善大使の活動

(1) 平成30年8月9日(木) ウェルカム バンケットでの丹波市紹介プレゼンテーションの様子



(2) 活動の様子



オーバン市のパレード

9 今後の姉妹都市（国際）交流の意義

姉妹都市との国際交流は、50年にわたって民間団体が主体となって行われてきました。今回の姉妹都市提携により、民間団体による交流と、自治体間の交流の両輪によって、さらなる親善を図ります。

(1) 若者の交流

丹波市国際交流協会の若き親善大使や、兵庫県立柏原高等学校とケント・メリディアン高等学校等との交換留学生による若者の交流は、次の意義があるものと考えます。

- ・世界を意識した広い視野を持ち、異なる文化を知り、尊重し、異なる文化を持った人々と共に生きていくことの意義を実感できます。
- ・異なる文化に深く触れることで、丹波市の文化・風土のありがたみや、日本人として、また個人としての自立を支えます。
- ・国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えを表現できる外国語によるコミュニケーション能力の必要性が実感できます。

(2) 経済交流

大シアトル経済圏は、マイクロソフト、アマゾンやボーイングといった世界の巨大企業が数多くあり、それに関係する膨大な取引企業によって成り立っています。また、大学での研究も盛んで、多くの研究費がつき込まれています。

このようななか、ワシントン州の現在の人口は700万人を超え、今後も経済の膨張に比例していくものと見込まれます。この経済圏からすれば、丹波市からの経済交流は、大海原のなかの一艘の小舟とも言える規模ではありますが、アメリカ西海岸の長い歴史のなかで培われてきた日本文化への理解や、ケント市・オーバン市・丹波市の50年の交流による人的ネットワークを活用し、丹波市の生産・加工物を味わっていただく機会を支援したいと考えます。

(3) 教育交流

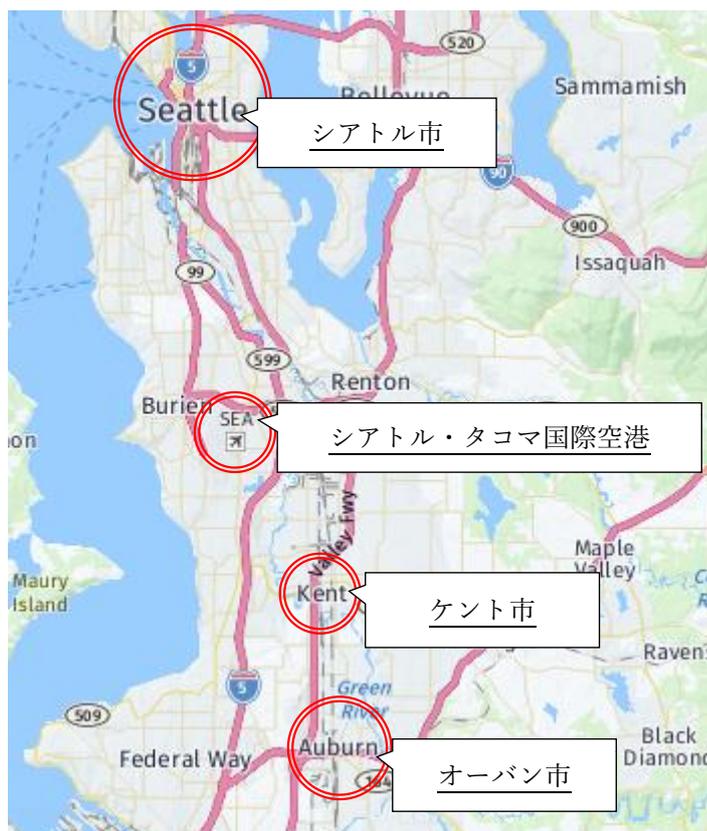
「主体的・対話的で深い学び」が求められ、小学校において外国語が教科となるなか、市立小中学校とケント市・オーバン市を始めとした英語圏の小中学校との交流には、次の意義があるものと考えます。

- ・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深めるにあたり、
- ・現地文化に根差した現実の生活に即した“本物”の会話に触れることで、普段の学びにはない伝えづらさや、それを乗り越えてコミュニケーションが成立したときの喜びを味わうことができます。
- ・同年代の児童生徒が、お互いに気になることや興味のあることを質問しあうことで、異なる文化を超えて同世代の思いを共有する機会となります。

10 ケント市・オーバン市の概要（アメリカ合衆国ワシントン州）

- ケント市 (Kent City)
 - 2016年人口 127,514人
 - 市面積 73.2 km²
 - 市長名 Dana Ralph

- オーバン市 (Auburn City)
 - 2016年人口 77,472人
 - 市面積 55.3 km²
 - 市長名 Nancy Backus



11 兵庫県におけるワシントン州との姉妹都市提携等（一般財団法人自治体国際化協会ホームページより）

自治体名称	提携自治体名
兵庫県	ワシントン州
神戸市	シアトル
西宮市	スポークン
西脇市	レントン
三田市	キティタス郡
加西市	プルマン
篠山市	ワラワラ
宍粟市	スクイム
加東市	オリンピア
加東市	シェラン
たつの市	コビントン
市川町	ポートタウンゼント

1 2 これまでのケント市・オーバン市への留学生等

(1) 丹波市国際交流協会の取組

若き親善大使（平成11年度～） 158名

(2) 兵庫県立柏原高等学校と姉妹校ケント・メリディアン高等学校等の取組

交換留学生（昭和41年度～） 33名

1 3 今回の訪問団の主要行程

月日	時間	内容
8/7（火）	17:00	Kent 市議会を訪問
8/8（水）	9:00	在シアトル日本国総領事を訪問（山田洋一郎総領事）
8/8（水）	10:15	兵庫県ワシントン州事務所を訪問（河知秀晃事務所長）
8/8（水）	18:30	総領事公邸晚餐会
8/9（木）	9:30	企業訪問
8/9（木）	11:00	オーバン市長を訪問
8/9（木）	13:00	オーバン市の概要説明、企業訪問
8/9（木）	18:00	Welcome Banquet（KAT 主催）
8/10（金）	10:30	企業訪問
8/10（金）	13:00	ケント市長を訪問
8/10（金）	14:00	姉妹都市提携協定式
8/10（金）	16:00	ケント市内のかいばら公園を視察
8/10（金）	17:30	Farewell 会（ケント市長主催）

これからの教育の方向性

丹波教育委員会
岸田隆博

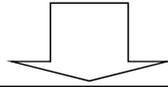


目の前にいる子どもたち
は、2030年を社会人
として生きていく！



予測不可能な時代

- ・超AI時代に向かって加速
- ・会社にしがみつくと必要はない



社会の変化に応じて、何をどのように学んでいくのかを自ら主体的に考え、未来を自ら創っていく力
⇒ **学び続ける力**

大学入学共通テスト

- ◆ センター試験
2019年度（2020年1月）の実施を最後に廃止
- ◆ 大学入学共通テスト
2020年度からスタート

大きな変更点

- 記述式問題の導入
- 英語の4技能評価

思考力・判断力・表現力を問う問題に

「ある星から地球に視察にやってきた宇宙人が、次のような質問状を残していきました。

『地球でいちばん驚いたことは、地球人が国と呼ばれる単位に分かれて暮らしていて、国ごとに異なる制度の下で競い合っていることです。私たちの星には、国という制度ばかりか、その概念すらありません。そこでお聞きしたいのですが、地球人はなぜ国という単位に分かれて暮らすことを好むのですか？』

以上の質問状に書かれた問いに答える形で、宇宙人への返事を400字程度で書きなさい。

暗記・再生型の授業 ➡ 思考・発信型の授業

人生100年時代

- 2007年に生まれの子ども50%は、**107歳**まで生きる
- 2017年に生まれた子ども50%は、**110歳**まで生きる

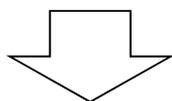
50%の確率で生存する年齢は

20歳で102歳、40歳で98歳
60歳でも94歳。



長寿社会になると

3ステージ型（教育→仕事→引退）



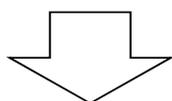
マルチステージ型

常に新たなスキルを習得しながら
複数のキャリアを渡り歩く

**一つの方野のスキルで一生稼げる
時代は終わりに近づいている**

人生100年時代構想会議

幼児教育・高等教育の無償化
社会人のリカレント教育（学び直し）



「働く」と「学ぶ」を一体化

**「学び続けられる力」をどれだけ鍛
えられたかを問われる時代に**

文科省・経産省の動き

文部科学省

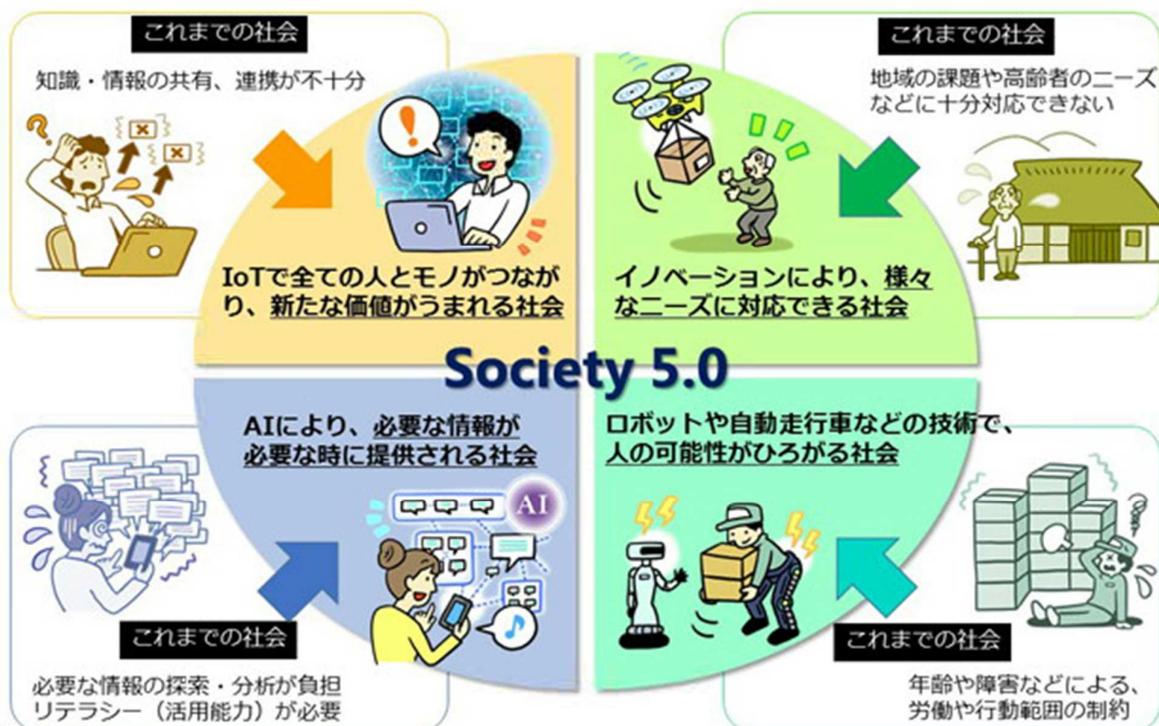
- Society5.0に向けた人材育成
～社会が変わる、学びが変わる～

経済産業省

- 「未来の教室」とEdTech研究会
第一次提言



文科省・Society5.0

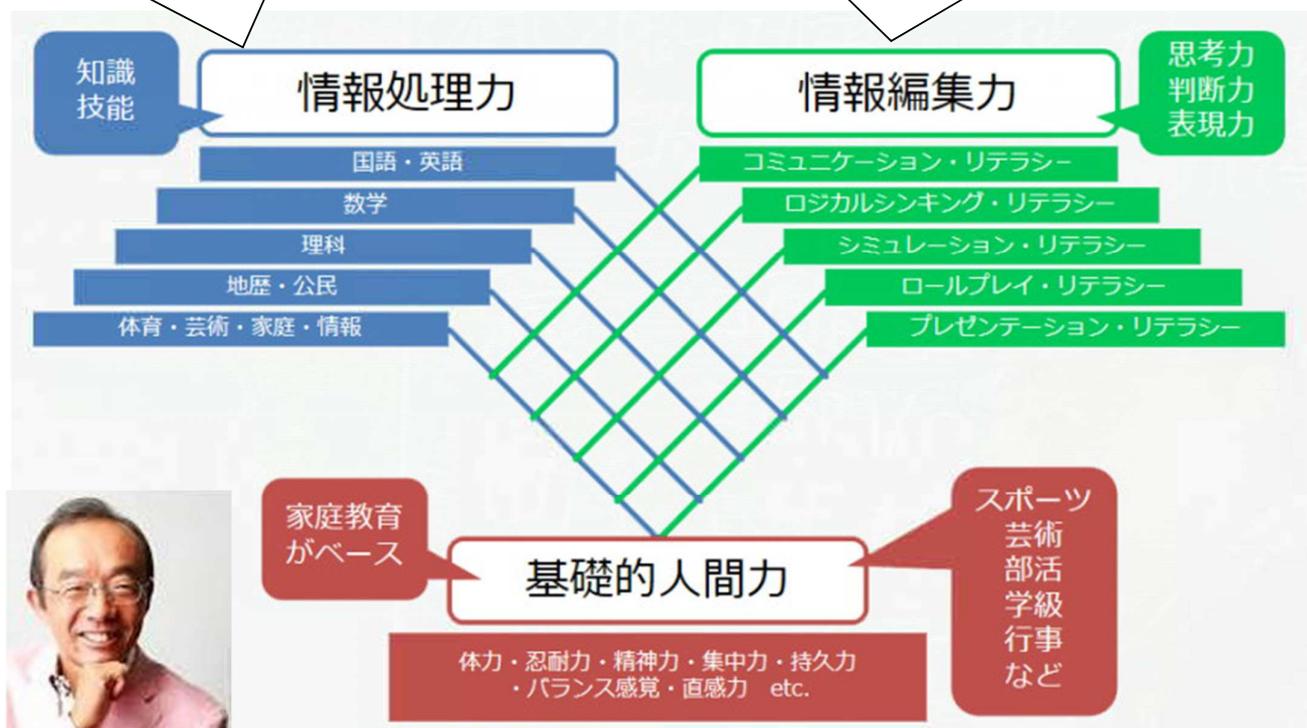


Society5.0における学校

- ①個人の進度や能力、関心に応じた学びの場となることが可能
- ②学習履歴や学習到達度、学習課題に応じた異年齢・異学年集団での協働学習も広げていくことが可能
- ③様々な教育資源や社会関係資本を活用して、いつでも、どこでも学ぶことが可能

20世紀は
「正解」ある**成長社会**！
ジグソーパズル型学力

21世紀は
「正解」ない**成熟社会**！
レゴ型学力 **納得解**



必要な力・・・

“学び続ける力”

社会の変化に応じて、何をどのように学んでいくのかを自ら主体的に考え、未来を自ら創っていく力



Keyword

未来を創る 地域に誇りを持つ

地域に誇りを持ち
自分たちの未来を創る丹波っ子！

- 一人ひとりが未来の創り手になるために
- 学び続ける力
 - 新しい価値を創造する力
 - 社会で自立できる力



わたしにもできる わたしだからできる
～ 夢や希望を抱く子ども ～

問われる学校力

人と人との対面でぶつかって議論や討論などができるような児童生徒を育てること

⇒児童生徒の将来に責任を負う教師がどれだけ**自覚的**であるのか。

⇒子ども達に迫る厳しい将来を、どれだけ**我がごとの問題として捉えている**か。



問われる学校力

これからの社会は、これまでの社会の延長線上にはない

社会に出ても、学び続ける子どもを育てなければならない！



学び続ける教師

教師自身が
アクティブ・ラーナーに！

子どもたち一人ひとりが持っている
可能性やよさを引き出し、**どの子ども
見捨てない教育**を！